

2024 年度

事業シート

事業名		博物館 維持管理費（指定管理者のあり方）						事業開始年度		2024				
上位施策事業名								担当局・部名		教育部				
根拠法令等		入間市博物館条例						担当課・担当名		博物館				
事務区分		■自治事務 □法定受託事務						作成責任者		大久保				
実施の背景		平成6年に開館した「入間市博物館」は、地域とお茶をテーマに、様々な事業の実施、学会員による調査研究の蓄積と活用により、広く市民文化の発展に寄与してきた。平成29年度からさらなる運営の効率化とサービスの向上を図るために、指定管理者制度が導入された。なお、博物館の役割のうち、地域の歴史・文化を正しく継承する上で重要な学芸部門は直営で運営することになった。												
目 的 （何のために）		指定管理者制度の導入により、博物館の運営において、民間事業者の柔軟なアイデアを生かすことで市民サービスの向上が図られるとともに、専門的なノウハウにより施設や設備の適切な維持管理を行うことができる。また、指定管理者が行う広報誘客業務により、新たな来館者層を確保し、博物館来館者の増加につなげていく。												
事業概要	対 象 （誰・何を対象に）	博物館来館者及び施設								対象者数（全住民に対する割合）				
										87,887 人 （ 60 % ）				
	実施方法	□直接実施												
		□業務委託 又は ■指定管理 （委託先又は指定管理者：いるまミュージアムパートナーズ ）												
		□補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）												
		□貸付（貸付先： ）□その他（ ）												
事業内容 （手段、手法など）	事業内容													
	○施設の運営管理（受付、資料閲覧室、茶室等の運営管理） ○広報誘客業務（広報紙発行、ポスター・チラシ制作、SNS発信、有料広告掲出） ○自主事業の実施（博物館来館者層の新規開拓） ○施設の維持管理（施設・敷地の美観維持、施設設備の保守管理・修繕、施設の警備等） ○市職員と指定管理者職員による事業調整及び情報共有（週1回実施）													
関連事業 （同一目的事業等）														
コスト			2024 年度（予算）			2023 年度（決算）			2022 年度（決算）			2021 年度（決算）		
	事業費	事業費合計	129,548		千円	117,394		千円	110,458		千円	104,504		千円
		事業費内訳 （2023年度分）	○指定管理料 117,393,019円（うち光熱水費16,762,019円、修繕料8,000,000円） ・人件費（施設の運営のための人員に係る経費） ・事務費（施設の維持に必要な経費） ・管理運営費（施設・設備の維持管理のための経費） ・事業費（広報誘客・自主事業に係る経費） ・委託料（機械警備等に係る委託料） ・その他（公租公課など）											
		担当正職員	0.13	人	1,027	千円	0.13	人	1,027	千円	0.13	人	1,027	千円
		臨時職員等		人		千円		人		千円	0.04	人	180	千円
		人件費合計		人	1,027	千円		人	1,027	千円		人	1,207	千円
	総事業費	130,575		千円	118,421		千円	111,485		千円	105,711		千円	
財源 内訳	国県支出金			千円			千円			千円			千円	
		国県支出金の内容												
	地方債			千円			千円			千円			千円	
	その他特財			千円			千円			千円			千円	
		その他特財の内容												
		一般財源	130,575		千円	118,421		千円	111,485		千円	105,711		千円
財源合計	130,575		千円	118,424		千円	111,485		千円	105,711		千円		

事業シート

事業名		博物館 維持管理費（指定管理者のあり方）				事業開始年度		2024	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		自主事業参加者数			人	10,366/8,000	7,833/5,000	5,437/5,000	
		施設管理業務数			件	42/32	47/35	50/35	
		広報誘客事業数			件	15/11	11/12	9/12	
	単位当たりコスト		/						
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	指定管理者による自主事業や広報誘客業務の実施により、入館者・利用者数に反映されることから成果指標のひとつとした。また、30年を経過した施設・設備について、経年劣化などによる不具合が発生する件数が増加している中で、迅速適切な対応により博物館の施設運営の維持につながることから、修繕実績を成果指標とした。							
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		博物館来館者・利用者数			人	87,887/80,000	52,874/60,000	51,238/60,000	
		修繕実績数			件	18/15	18/15	28/15	
						/	/	/	
自己評価			廃止・凍結		国・県・広域		要改善	☒	現行通り・拡充
評価の内容		指定管理者の柔軟な発想による自主事業・広報誘客業務により、普段博物館に足を運ばない層にアプローチすることで、来館者・利用者の増加につながっている。また、施設・設備の維持管理については、指定管理者の専門的な知識と技術により、市職員では実施が困難な事業に対して対応できている。なお、コロナ禍においては、市職員と連携を図りながら、専門的な知識を生かした施設管理や、民間ノウハウを活用した取組を行うことで、博物館の継続的な運営につなげることができた。 今後も同居型のメリットを生かし、指定管理者と市職員が緊密な連携を取っていくことで、市民サービスの向上とより効果的な博物館運営を行っていく。							
課題	2023年度	経年劣化により修繕が必要な箇所が増加しており、指定管理者（専門家）の意見をもとに優先順位をつけて対応していく必要が生じている。SNSでの発信のほか、新たに動画配信等に取組みことで、来館者・利用者の増加につなげていく必要がある。							
	2024年度	経年劣化により修繕が必要な箇所が増加しており、指定管理者（専門家）の意見をもとに優先順位をつけて対応していく必要が生じている。動画配信とともに、更なる情報発信方法を研究し、来館者・利用者の増加につなげていく必要がある。							
今後の予定		指定管理者の民間事業者としてのノウハウと、市職員の専門性のある学芸員の経験・知識を融合させることで、限られた予算の中で事業の充実を図っていく。また、施設の利用拡大には、新たな来館者・利用者層を取り込んでいく必要があることから、指定管理者の魅力的な自主事業や効果的な広報手法により拡充を図って行く。さらに大規模改修時期までの施設の長寿命化を図るために、専門的な知識を持つ指定管理者の意見をもとに、計画的な修繕を実施していく。							
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		狭山市立博物館（狭山市） 学芸部門を含めて指定管理者を導入。民間事業者が有するコンテンツにより、人気のある企画展示を実施することで誘客につながっている。一方、地域の歴史・文化に熟知した学芸員が不足しており、地域をテーマにした展示の実施や、市民からの問合せに対応できていないといった課題もでている。							
特記事項		効率的な博物館運営とともに、博物館が果たすべき役割である資料の収集・調査研究、展示公開、教育普及については、各地域における知識・経験を有する専門的な学芸員の力が不可欠である。入間市博物館においても市民から寄贈・寄託された資料を適切に保存管理するとともに、次世代に継承していくためには、専門的な学芸員の確保育成が必要である。							

入間市博物館 組織・事業・業務概要（令和6年度）

平成6年11月に、地域とお茶をテーマにした総合博物館として、また市民文化の創造・発信の拠点となる施設として開館。市民の「心のよりどころ」となる博物館を基本理念として、30年に渡り様々な企画展や特別展、お茶や茶文化、地域の歴史・民俗・文化財等に関する事業を実施してきた。

また、その間の資料の収集、整理、保存、調査研究を通じて、市の歴史・自然・民俗・産業等の「資源」を、分かりやすく興味を持ってもらえるように「編集・解説」して発信するなど、市のシンクタンクとして、様々な要望に対応し、シティセールスに貢献している。

平成30年度からは、更なる市民サービスの向上を図るために、学芸部門は直営で、施設の維持管理、運営、広報・誘客業務については指定管理者制度による運営を行っている（現在7年目）。

○職員構成

【市直営】

- ・一般職 10名（内訳）館長 1名、学芸担当 6名、文化財担当 3名 ※学芸員有資格者 6名
- ・パートタイム職員 13名（内訳）展示解説員 10名、事務職 3名

【指定管理者（いるまミュージアムパートナーズ）】

- ・正社員 4名（内訳）責任者 1名、副責任者 2名、統括管理者 1名
- ・パート・臨時雇用等 18名
（内訳）受付・施設貸出担当 8名、警備員 3名、設備管理員 2名、清掃員 5人

○事業・業務内容 ※文化財保護事業を除く。事業の詳細は別添「令和5年度実施事業一覧」

【市直営（学芸部門）】

- | | |
|------------|---|
| ・常設展示の運用 | 定期的な展示替えやメンテナンスの実施、展示解説員の運営 |
| ・特別展の開催 | 開館30周年記念アリットフェスタ特別展の開催 |
| ・その他の展示 | 館内各所を活用した展示、出張展示や関連イベント |
| ・教育普及事業 | 講座（出前講座含む）や体験学習、ボランティア会と連携した事業実施 |
| ・茶文化普及事業 | 秋の茶会、食文化ミュージアムのお茶体験の実施、手揉み茶の実演他 |
| ・博物館学校連携事業 | 市内外小中学校等の博物館授業の実施（オンライン含む）、学校教育支援講座（出前授業）、教員への研修・支援、「むかしのくらしと道具展」実施（展示および体験学習、体験イベント） |
| ・お茶大学の運営 | 地域とお茶をテーマに、年間を通じた講座（講義、体験、野外）の実施 |
| ・資料等の整備 | 資料の収集、整理、保存、調査研究と展示、閲覧、公開、刊行物発行、資料の貸出・画像提供等、行政文書の収集・整理・保存・公開 |
| ・レファレンス対応 | 市の自然・歴史・お茶等に関する各種問い合わせ、相談への対応・支援 |
| ・情報システムの運用 | 収蔵資料管理システム、施設管理システム、CMS等 |
| ・各種団体との連携 | 類似施設（博物館・文書館・図書館等）、大学・高校他各種学校、市民文化団体（茶道連盟等）、業界団体（茶業協会・工業会等）、企業等 |
| ・広報業務 | 公式ホームページ・SNSによる情報発信、市役所関係媒体・記者会見等対応、プレスリリース、取材対応、出版物・広報資料等の発送業務 |
| ・旧黒須銀行の運営 | 旧黒須銀行の維持管理、公開・イベント開催 |
| ・維持管理 | 日常的な展示室・収蔵庫等環境管理、修繕・工事（200万円を超える） |
| ・行政系事務 | 予算・決算・契約・支出事務、各種調査・照会対応、博物館協議会運営
指定管理者の管理業務 |

【指定管理者】

- ・維持管理 年間計画による施設・設備のメンテナンス
(電気設備・空調設備・消防設備・建築物・浄化槽・環境衛生等)
施設・館庭の清掃・植栽管理、施設の警備
修繕等(200万円以下のもの) ※自前に対応する修繕あり
- ・運営業務 来館者受付(1階受付、資料閲覧室)、施設(市民ギャラリー・講座室・茶室等)の貸出運用、刊行物販売
- ・広報誘客 広報紙「News ALIT」の発行、雑誌やSNS・駅広告等を活用した事業PR、案内看板の整備、YouTubeチャンネルの運営・コンテンツ制作、ランディングページの制作・運営
- ・自主事業 賑わい創出イベントの実施、ミュージアムショップ運営・オリジナルグッズ制作、キッチンカーの誘致、レストランとの連携等

○博物館事業費(令和6年度6月補正後) 総額 291,699千円

【市直営】 162,151千円

項 目		金 額 (円)	備 考
歳入	施設使用料	600,000	市民ギャラリー・講座室・茶室ほか
	観覧料	1,586,000	常設展示室、特別展等
	雑入	955,000	刊行物売上等
	収入合計	3,141,000	
歳出	報酬	254,000	博物館協議会委員報酬
	職員給与費	111,691,000	一般職、会計年度任用職員(パート)
	維持管理費	3,462,000	指定管理料を除く
	諸工事費	19,800,000	空調設備改修工事
	事務費	187,000	建物共済保険等
	博物館運営事業	26,757,000	各種事業費
	歳出合計	162,151,000	

【指定管理者】 129,548千円

項 目		金 額 (円)	備 考
収入	指定管理料	129,548,000	
	自主事業	3,310,000	
	雑入	50,000	
	収入合計	132,908,000	
支出	人件費	33,660,700	運営に必要な人員に係る経費
	事務費	4,348,800	施設の維持に必要な経費
	管理運営費	42,342,100	施設・設備の維持管理の経費
	事業費	6,460,000	広報誘客・自主事業の経費
	委託料	1,181,400	機械警備等
	その他	7,915,000	公租公課費など
	光熱水費(※)	29,000,000	
	修繕費(※)	8,000,000	
	支出合計	132,908,000	

※光熱水費・修繕費(計37,000千円)は清算項目

令和5年度 入間市博物館事業一覧

事業名		事業概要及び成果	期間・実施日	場所	入場者・参加者数
アリットフェスタ2023		常設展示室「入間の歴史」リニューアル財源確保のため令和3～5年度の開催休止	-	特別展示室 市民ギャラリー 他	- 人
開館30周年記念「むかしのくらしと道具展」 観覧料：無料		常設展示「入間の歴史」と組み合わせての開催。 昭和初期から高度経済成長期頃までの生活用品の展示を行うほか、開館30周年を祝うテーマ展示として「蔵出し むかしの道具まつり」と題し、博物館開館からの資料のみならず前身である郷土民芸館時代も含め貴重な資料を紹介。 会場内では「石臼を挽く」「唐箕でもみ殻を選り分ける」実演を行うほか、コロナ下で休止していた体験コーナーを復活させた。また、会期中以下の関連事業を実施。 ＊盆と正月が一緒にやって来る！～真冬の盆踊り～ ＊食文化ミュージアムのお茶体験 むかしのくらし編 ＊お正月あそび ＊機織り体験 ＊街頭紙芝居 ＊作って遊ぼうむかしの玩具～お手玉づくり～ ＊レコードの音を聞いてみよう ＊おやこ手もみ茶体験 ＊館庭の自然散歩むかしのくらしと道具展スペシャル	1月6日(土)～2月14日(水)	特別展示室 市民ギャラリー	延べ 5027 人
エントランス展示		「食文化ミュージアム認定」「アリットの端午の節句」「おいしい狭山茶大好き条例」「牧野富太郎博士と狭山茶」「入間市と関東大震災」「定点撮影テーマ撮影～旧黒須銀行～」文化財保護強調週間」「むかしのくらしと道具展」「アリットの雛まつり」	通年 9件	エントランスホール	集計なし
常設展特集展示		常設展示の集客力向上と館蔵品の公開機会を増やすため実施。こどもの日や夏休み、正月には、展示資料を探しながら楽しむスタンプラリーを実施した。 ①「アリットの端午の節句」 ②「昭和の入間に夏がきたヨ！（盆棚・思い出画でみる おらーほーの夏）」 ③「浮世絵お茶語り」 ④「思い出画でみる おらーほーの秋」 ⑤「思い出画でみる おらーほーの冬」 ⑥「牧野富太郎と入間市の植物」 ⑦「アリットの雛まつり」 ⑧「思い出画でみる おらーほーの春」	4月15日(土)～5月7日(日) 7月22日(土)～8月20日(日) 8月1日(火)～8月27日(日) 9月27日(水)～11月26日(日) 1月6日(土)～2月25日(日) 9月12日(火)～12月24日(日) 2月10日(土)～3月10日(日) 2月28日(水)～3月31日(日)	常設展示室 他	集計なし
新規指定文化財特別展示「古谷重松奉納祭囃子祭礼図絵馬」		令和5年4月1日に新規指定有形文化財になった「古谷重松奉納祭囃子祭礼図絵馬」の普段非公開の実物と、精巧なレプリカを併せて展示し、所縁ある重松流祭囃子の演奏や資料解説を関連事業として行った。	5月30日(火)～6月18日(日)	特別展示室	896 人
常設展「茶の世界」茶文化コーナー季節のしつらえ		寄贈資料なども含め、季節に応じたテーマを設けて展示室内の茶室の道具、床の間飾りなどを取り合わせるほか、展示ケース内にテーマに沿った茶道具等を展示した。	通年(概ね月替わり) 15件	常設展示室 方丈庵(休憩コーナー)	集計なし
	手揉み茶普及事業	例年、入間市手揉狭山茶保存会・狭山火入れ保存会に協力をいただき、焙炉を使った狭山火入れの実演や手揉み体験などを行っている。前年は新型コロナウイルス感染症対策で中止したが今年度は「親子手もみ茶体験」を復活させた。	2月4日(日)	エントランスホール	集計なし

令和5年度 入間市博物館事業一覧

事業名		事業概要及び成果	期間・実施日	場所	入場者・参加者数
茶文化普及事業	博物館セミナー ～ALITお茶大学～	例年、「お茶」と「地域」の博物館として茶業や茶文化、地域の歴史や文化財を多角的に学ぶ「ALITお茶大学」を開催している。 19期目に当たる令和5年度は、無料で実施する6課目の講演・講義と、有料の体験・見学課目6講座の計12講座を実施した。	①6月10日(土) ②6月17日(土) 6月25日(日) 7月1日(土) ③7月8日(土) ④7月15日(土) ⑤9月17日(日) ⑥9月23日(土) ⑦9月30日(土) ⑧10月14日(土) ⑨11月18日(土) ⑩11月25日(土) ⑪12月3日(日) ⑫12月9日(土)	講座室 茶室 野外(市内) 他	72人 19人 60人 19人 23人 63人 15人 17人 49人 19人 15人 46人 34人 17人 延べ人数 468人
	夏休み・こどもお茶大学	例年、夏休みにあわせて体験学習を中心とした小中学生対象のこども向け講座を3講座実施。	①8月3日(木) ②8月10日(木) ③8月19日(土)	体験学習室 講座室 館庭 他	24人 19人 31人 延べ人数 74人
	食文化ミュージアムのお茶体験	毎月第1日曜日に来館者に各地のさまざまなお茶を体験してもらう事業。レクチャーは日本紅茶協会・日本茶インストラクター協会・ボランティア会の協力で実施した。			
		第1回 桜湯振る舞い 第2回 学芸員の振る舞う狭山茶の新茶 第3回 狭山茶の日スペシャル～狭山茶の新茶～ 第4回 夏はアイスティー～夏の紅茶を楽しもう！～ 第5回 冷茶で振る舞う狭山茶の煎茶と抹茶 第6回 国産の紅茶のアレンジを楽しむ 第7回 雪中熟成茶『駒結』 第8回 美味しいミルクティーの秘訣～自分好みのミルクティーを探そう～ 第9回 阿波晩茶 第10回 むかしのくらし編 昭和の茶の間でお茶体験 第11回 そのぎ茶 第12回 桃の節句を紅茶で	4月2日(日) 5月7日(日) 6月4日(日) 7月2日(日) 8月6日(日) 9月3日(日) 10月1日(日) 11月5日(日) 12月3日(日) 1月7日(日) 2月4日(日) 3月3日(日)	休憩コーナー 休憩コーナー 休憩コーナー 休憩コーナー 休憩コーナー 休憩コーナー 休憩コーナー 休憩コーナー 休憩コーナー 体験学習室 休憩コーナー 合計	103 人 205 人 166 人 139 人 151 人 38 人 40 人 39 人 35 人 123 人 50 人 51 人 1,140 人
	秋の茶会	博物館の茶室「青丘庵」を会場に本格的な茶会を楽しむ催し。	10月7日(土)	茶室 「青丘庵」	55 人
共催・連携事業	SMF連携事業	「くろぎん茶屋」「大くろぎんまつり」事業実施で連携。 参加人数は旧黒須銀行保存活用事業で集計	6月24日(土)、9月9日(土)	旧黒須銀行	- 人
	常設展解説案内	定時の解説。団体案内等。 【感染症の状況を見ながら、人数・時間制限を設けて実施】	土・日・祝日 他、随時	展示室	704 人
	狭山茶無料サービス	休憩コーナーでの狭山茶の振る舞いサービス	原則として土・日・祝日。	休憩コーナー	9,330 杯

令和5年度 入間市博物館事業一覧

事業名		事業概要及び成果	期間・実施日	場所	入場者・参加者数
その他	サイエンスバー	ボランティア会員による実験・実演や工作体験	第1・3土曜	こども科学室	436 人
	機織り体験	ボランティア会員の指導で機織りを体験し、織ったコースターを作品として持ち帰る。	第1土曜日	回廊	68 人
	館庭の自然散歩	ボランティア会員による館庭の植物等の解説。	原則として第4日曜日	館庭	8 人
	野田双子織育成講座(2回連続)	基礎知識を学び、野田双子織研究会の指導で糸紡ぎから機織まで一連の工程を体験。	11月8日(水)・15日(水)	体験学習室・回廊	5 人
博学連携事業	博物館授業(授業活用)	例年学校での授業利用を継続的に行うために、バスを借り上げて市内小中学校の児童・生徒の送迎を行っているほか、学校予算での来館を受け入れた。小3は「むかしのくらしと道具展」を中心に授業を実施。中学校は茶席体験を中心に授業化。小6はオンライン授業を本格実施。そのほか博物館の資料や調査研究の成果やワークシートを活用して、市内の小中学校へ学芸員が出向き、出前授業を実施した。	通年	常設展示室・特別展示室他	延べ 4,691 ※引率者 含む 人
	教員研修	転入教職員研修(授業力向上研修会) 「入間市の自然」「入間市の歴史」	7月28日(金)	オンライン	20 人
		小・中学校初任者研修施設体験研修 「写真と図で見る入間市の地理・歴史」	7月27日(木)	講座室 他	16 人
	中学生社会体験チャレンジ	中学生の社会生活の体験として職場体験を実施した。 (武蔵中、上藤沢中、藤沢中、野田中)	7月14日、11月21日、 11月30日～12月1日、 12月5日～6日		合計13 人
	学芸員実習	資格課程のある大学からの要請により実習生を受け入れた。	7月25日～8月4日		5 人
西洋館保存活用事業	学校支援講座(出前授業)	学校からの要請により、学芸員が学校に出向いて出前授業を行った。	8件		574 人
	一般公開	西洋館を多くの方に知ってもらうために、建物の一般公開を行った。また、来館者に石川組製糸や西洋館への理解を深めてもらえるように、ガイドツアーの実施(1日3回)や喫茶コーナーの営業を行っている。	4月8日(土)～3月24日(日)のうち延べ46日間	西洋館	2,575 人
	イベント	西洋館の雰囲気を生かし、その魅力を発信するために様々なイベントを実施した。実施に当たっては、主催事業のほか、市民団体等との共催による事業も行った。			
		①ジャズレコード鑑賞会	5月21日(日)		71 人
		②琵琶とシタールの響き	6月18日(日)		31 人
		③入間市西洋館の日特別公開(公開日・無料) ※参加者数は一般公開来館者数で計上	7月7日(金)		- 人
		④公開日ミニコンサート ※参加者数は一般公開来館者数で計上	7月8日(土)		- 人
		⑤舞踏披露会 ※参加者数は一般公開来館者数で計上	9月9日(土)～10日(日)		- 人
		⑥秋の茶会	10月21日(土)		61 人
		⑦七五三撮影	11月11日(土)		62 人
		⑧冬隣の音楽お茶会	11月25日(土)		20 人
		⑨講座「わが国における西洋館の軌跡」	3月17日(日)		19 人
その他	その他	PTA・観光ツアー等、各種団体からの依頼により、見学会や講座等の対応を行った。	7件		133 人
					事業合計

令和5年度 入間市博物館事業一覧

事業名		事業概要及び成果	期間・実施日	場所	入場者・参加者数
					2,972 人
旧黒須銀行保存活用事業	旧黒須銀行特別公開	復元修理に向けた広報活動も含めたイベントを開催したほか、特別公開を行っている。	7月8日(土)	旧黒須銀行	63 人
	イベント	①おやすみどころくろぎん(特別公開・遊びの広場)・泥団子教室	5月3日(水・祝)	旧黒須銀行倉庫跡広場	491 人
		②くろぎん茶屋・くろぎん茶屋で聴く入間の民謡お茶のうた	6月24日(土)	旧黒須銀行倉庫跡広場	238 人
		③大くろぎんまつり	9月9日(土)	旧黒須銀行倉庫跡広場	446 人
		④大掃除会	4月29日(土・祝)	旧黒須銀行倉庫跡広場	12 人
		⑤埼玉りそな銀行によるボランティア除草・見学会	11月5日(日)	旧黒須銀行倉庫跡広場	27 人
		⑥クロスプロジェクト見学会&意見交換会	1月21日(日)	旧黒須銀行西山荘ストリート	21 人
		⑦クラウドファンディングツアー	2月17日(土)	旧黒須銀行	1 人
		⑧団体見学(公開日以外)	10月22日(日)	旧黒須銀行	42 人
					事業合計 1,341 人
博物館学芸員による出前講座		「いるま生涯学習出前講座」をはじめ、外部からの依頼により学芸員が講師として実施した講座や講演会、研修会等。	通年 40件	市内・市外	898 人
博物館学芸員による外部執筆依頼		外部からの依頼により学芸員が原稿執筆した書籍・論文・展示物等の件数。	通年		5 件
広報活動 (記事掲載・放映)		博物館からのニュースリリースや、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等の取材や資料提供の依頼を受け、放映・掲載された。	通年		37 件
指定管理者「いるまミュージアムパートナーズ」による自主事業		指定管理者ならではのノウハウを生かした事業として、展覧会や教室・講座等を実施。		博物館	事業合計 10,366 人

令和5年度 いるまミュージアムパートナーズ自主事業一覧

事業名		事業概要	開催日	会場	人数
展覧会	トイレール展 ～関東めぐりの旅に出よう！～	トイレールを使用しトレインアーティストのぺたぞう氏が関東の鉄道を表現した展覧会	3/15～24	特別展示室 市民ギャラリー	3,530
教室	リトミック教室	0才～1才、1才～3才くらいを対象とした、子ども達に向けての教室	4/16、5/25、 6/22、7/20、 8/17、9/21、 10/26、11/30、 12/21、1/25、 2/29、3/28	体験学習室	258
	アロタイ（アロマストレッチ）体験	アロマとタイ古式セルフマッサージを融合したオリジナルストレッチ体験	5/25、6/22、 8/17、9/21、 10/26、11/30、 12/21、1/25、 2/29	体験学習室	93
	デッサン教室	日本画家や油絵画家等を講師に呼びデッサン教室を開催	4/20、5/14、 6/25、7/23、 8/20、9/24、 10/29、11/19、 12/24、1/14、 2/18、3/10	体験学習室	169
その他・イベント	鉄道ひろば	ミニ蒸気機関車の乗車やエアドーム、段ボール列車への塗り絵など、親子で楽しめる催し	10/21、22	市民広場	2,628
	The Big Voice	アナウンサーによる発声に関する知識の習得や練習を行った後、普段大きな声を出せない展示室で、思い切り大声を出す催し	11/11、12	市民ギャラリー 特別展示室	27
	日光さる軍団 さる回し公演	日光さる軍団のコンビによる猿まわし公演。1回15分程度の計10回の公演	1/28	博物館 前	1,809
	ジャグリング体験	大学生のジャグリングサークルによる、一般来館者に向けジャグリング体験を実施	1/28	休憩コーナー	336
	アリットげんき市	地域の一般の方が作成した食器や置物などを販売する市場	3/23、24	市民広場	1,500
	キッチンカー誘致	博物館の賑わい創出につなげるため、土日を中心にキッチンカーを誘致	通年	市民広場 近辺	—
	ミュージアムショップ	狭山茶や入間市観光協会グッズをはじめ、オリジナルグッズや雑貨の販売	通年	ミュージアム ショップ	—
お茶大学	秋の空をたのしむ書道アートの灯籠づくり＆お茶会体験	秋の空の特徴を学び、筆ペンで好きな言葉を書いた書で灯籠をつくる催し	9/17	茶室	16
				合計 12件	10,366名